

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	運動器再建・再生学 Orthopaedic reconstruction and regeneration	DM_1433	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	--	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他	
板橋	◎河野 博隆 中川 匠 渡部 欣忍 阿部 哲士 (病院教授) 北川 知明 (病院教授)	増田 裕也	時崎 暢		伊藤 正明 宮本 亘 笹原 潤	(臨床客員准教授) (医療技術学部 准教授) (医療技術学部 講師)
ちば	◎村田 泰章 和田 佑一			重村 知徳 山本 陽平	白谷 悠貴 濱野 寛之	
溝口		◎安井 哲郎	澁谷 勲 三木 勇治	金崎 志帆 山田 敦久		

	運動器再建・再生学Ⅰ (1年次)				運動器再建・再生学Ⅱ (2年次)				運動器再建・再生学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>講義では筋骨格系組織を構成する骨・関節・神経などの解剖学・組織学およびそれぞれの代謝性疾患・変性疾患の病態生理を学ぶ。また、再生医学研究実施に関わる法規を含めた基礎知識を学ぶ。</p> <p>演習では筋骨格系の代謝性疾患・変性疾患および腫瘍性疾患の症例サマリーを作成し文献レビューを含めて定期的にプレゼンテーションを行う。整形外科関連の学会・研究会・セミナーに参加する。</p> <p>実習では筋骨格系の退行変性疾患および腫瘍性病変の画像検査の診断法を学ぶ。主にスポーツ外傷を対象として、エコー検査による診断法を習得する。再生医学を研究するための基礎技術を習得をめざす。</p>				<p>講義では筋骨格系の外傷性疾患(骨折・靭帯損傷・脊髄損傷)の病態生理と最新の治療法について学ぶ。</p> <p>演習では筋骨格系の外傷性疾患の治療計画を立て、かつ実際の治療に立ち会い、症例のサマリーを作成し、文献レビューを含めて定期的にプレゼンテーションを行う。整形外科関連の研究会で発表できる能力を身につける。</p> <p>実習では模擬骨や関節鏡検査シミュレータを用いて骨折治療の基本手技や関節鏡検査の基本手技を習得する。</p>				<p>講義では筋骨格系疾患に対する再生医学・再生医療の現状と、整形外科で用いるインプラントの材料力学・バイオメカニクスについて学ぶ。</p> <p>演習では整形外科関連の研究会に参加し、「運動器再建・再生学Ⅰ」および「運動器再建・再生学Ⅱ」で経験した症例から選り抜いた症例報告の発表が行えるように指導する。</p> <p>実習では「運動器再建・再生学Ⅰ」、「運動器再建・再生学Ⅱ」で学んだ検査(画像検査, エコー検査, 関節鏡検査)および治療法(骨折固定手技)を向上させるように経験を積む。</p>			
到達目標	<p>1) 筋骨格系の代謝性疾患・変性疾患の病態生理を説明できる。</p> <p>2) 筋骨格系の退行変性疾患および腫瘍性疾患に対して適切な検査をオーダーし、正しく診断し、迅速な治療計画が立てられるようになる。</p>				<p>1) 筋骨格系の外傷性疾患(骨折・靭帯損傷・脊髄損傷など)の病態生理と最新の治療法を理解し、治療計画を立てることができる。</p> <p>2) 文献レビュー等の手法を用いて、外傷性疾患に対する治療計画の妥当性を説明できる。</p>				<p>1) 整形外科関連の研究会に参加し、症例報告の発表が行える。</p> <p>2) 検査(画像検査, エコー検査, 関節鏡検査)および治療法(骨折固定手技)の基本的な手技を行うことができる。</p>			
事前事後学修	<p>担当した症例に関する文献を調査し、内容を理解しておく。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>担当した症例に関する文献を調査し、内容を理解しておく。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>学会発表の準備, および検査手技の下調べをする。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度 40%</p> <p>レポート 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p>				<p>受講態度 40%</p> <p>レポート 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p>				<p>受講態度 40%</p> <p>レポート 30%</p> <p>プレゼンテーション 30%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	運動器再建・再生学Ⅰ (1年次)	運動器再建・再生学Ⅱ (2年次)	運動器再建・再生学Ⅲ (3年次)
板橋	月 曜日 7 : 30 ~ 12 : 00 症例検討会・プレゼン・病棟回診	月 曜日 7 : 30 ~ 12 : 00 症例検討会・プレゼン・病棟回診	月 曜日 7 : 30 ~ 12 : 00 症例検討会・プレゼン・病棟回診
	火/木 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	水/金 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術	月 曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 手術
	金 曜日 12 : 0 ~ 14 : 00 講義	木 曜日 12 : 0 ~ 14 : 00 講義	火/金 曜日 12 : 0 ~ 17 : 00 講義
	木 曜日 15 : 00 ~ 17 : 00 別途指示	金 曜日 15 : 00 ~ 17 : 00 別途指示	金 曜日 15 : 00 ~ 17 : 00 別途指示
ちば	木 曜日 9 : 00 ~ 11 : 00 神経ブロック	木 曜日 13 : 00 ~ 15 : 00 各種造影検査	月 曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 手術
	月 曜日 7 : 30 ~ 9 : 00 症例検討会	水 曜日 7 : 30 ~ 9 : 00 臨床抄読会/カンファレンス	水 曜日 7 : 30 ~ 9 : 00 臨床抄読会/カンファレンス
	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 30 症例検討会	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 30 症例検討会	月 曜日 7 : 45 ~ 8 : 30 症例検討会
溝口	火 曜日 8 : 45 ~ 12 : 00 手術	火 曜日 9 : 00 ~ 10 : 00 足および足関節疾患の病態と治療	月 曜日 9 : 00 ~ 10 : 30 手術
	金 曜日 9 : 00 ~ 10 : 00 手術	水 曜日 8 : 45 ~ 12 : 0 手術	水 曜日 9 : 00 ~ 10 : 00 骨・軟部腫瘍の診断と治療

教科書・参考書

講義内で紹介

その他履修上の注意事項

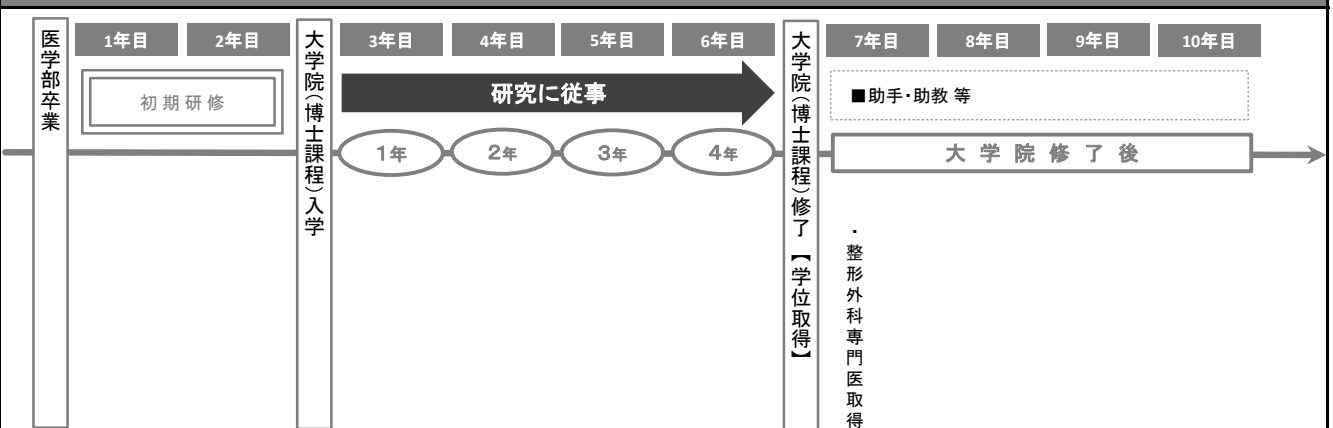
本人の希望により、国内留学(期間は原則として1年間)を認める場合がある。海外セミナーへの短期(期間は原則1週間)の参加を認める場合がある。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	人体病理学・病理診断学、放射線診断学・放射線腫瘍学、リハビリテーション医学、麻酔科学 等
	共通科目	病理診断学・法医学特論、整形外科科学特論

関連する専門医資格

日本整形外科学会専門医、専門医機構専門医

キャリアパス(モデルコース)



※社会人枠のキャリアパスについては各講座にお問い合わせください。